

American Audio®

Q-D1MKII

取扱説明書



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、American Audio 社製の Q-D1 MKII ミキサーをお買い上げ頂き誠に有り難うございます。
Q-D1MKII の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管して下さい。

ご使用になる前に

必ず本取扱説明書にしたがって操作して下さい。

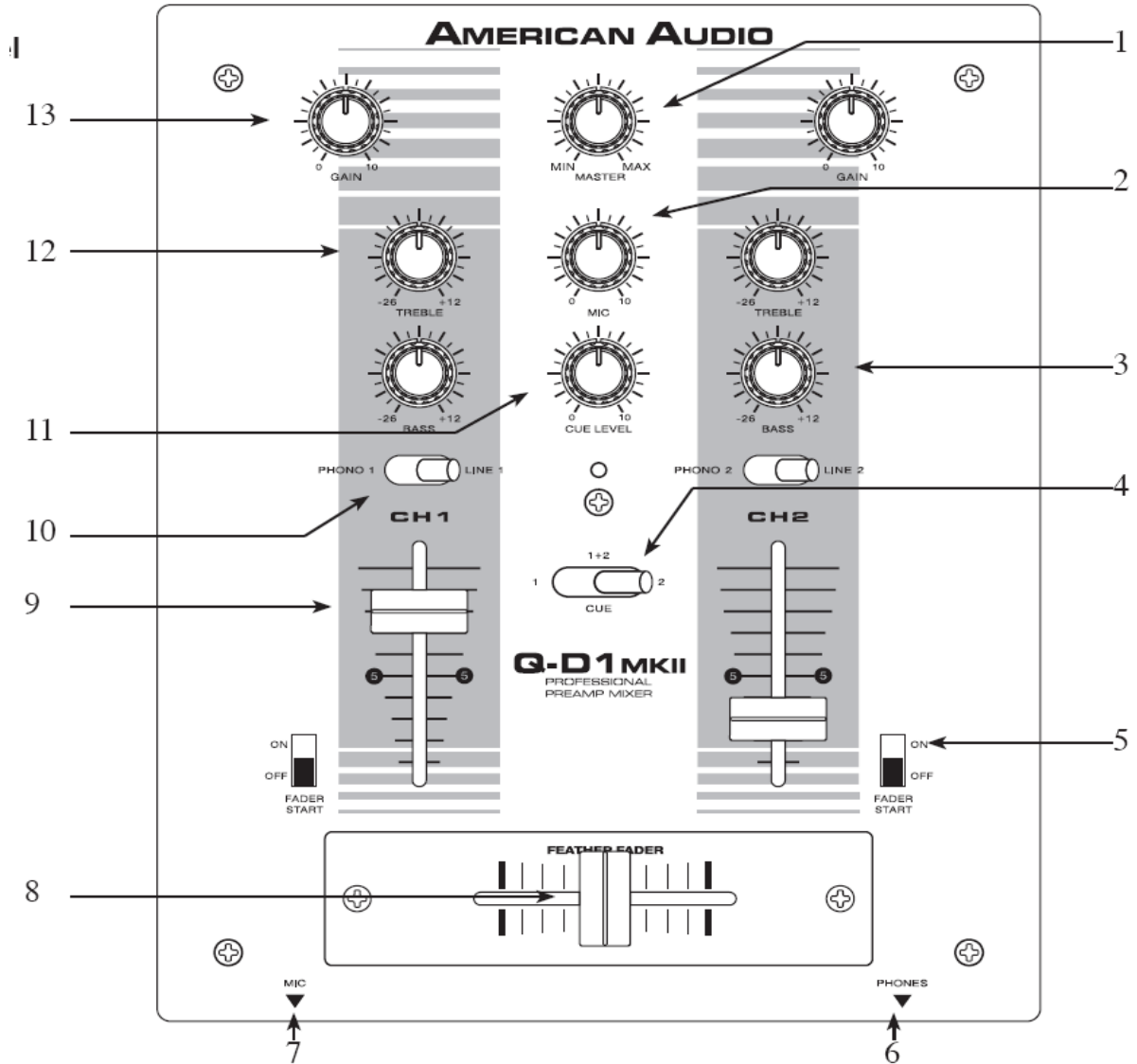
- 水には非常に弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意下さい。
- 本製品は屋内でのみ使用して下さい。屋外で使用した場合は保証対象外になりますので予めご了承下さい。
- 本製品を長期間使用しない場合は、本体電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
- 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所でご使用下さい。
- 本体との接続を行う際は、必ず電源ケーブルがコンセントから外れた状態で行って下さい。
- 本体のカバーが外れた状態で電源をオンにしないで下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様ご注意下さい。
- 信号の入出力端子に、許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。
- 故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡してください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

主な仕様

- Q-スタートコントロールフェーダー
- 交換可能クロスフェーダー
- 2Phono、2ライン入力可能
- 1MIC 入力端子を搭載
- Q-スタート対応(フェーダーQ スタート機能搭載の American Audio CD プレーヤーと組み合わせてお使い下さい。)
- 各チャンネルにトレブル、ベース EQ を搭載
- 各チャンネルに独立したゲインコントロール
- 高出力レベルのヘッドフォン出力
- 高ノイズレシオ
- スプリット・キュー・モニター機能を搭載
- キュー・ミキシング
- REC 出力端子を搭載

機能と操作

トップパネル



1. マスターボリュームコントロール

マスター出力レベルを調節します。

2. MIC レベル

マイク入力レベルを調節します。

3. チャンネルベースコントロール

チャンネル信号の低域を+12dB/-26dB の範囲で調節可能です。

4. キューミックスコントローラー

モニターするチャンネルを選択します。モニター信号はプリフェーダーから送られてくる為チャンネルフェーダーの影響を受けません。この機能によって各チャンネルを別々にモニターすることが可能です。

- 1) ヘッドフォンをヘッドフォン出力端子に接続して下さい。
- 2) キューミキシングコントロールを真ん中のポジションに設定するとチャンネル 1 の信号とチャンネル 2 の信号両方をモニターすることが可能です。
- 3) キューレベルコントロールにより、出力信号を変えることなくヘッドフォンレベルを調節することが可能です。

5. Q スタート・オン/オフスイッチ

Q スタートに対応した American Audio、又は American DJ の CD プレーヤーと連動して機能します。この機能は Q スタートに対応した CD プレーヤーの再生/停止をクロスフェーダーによって行うことが可能です。Q スタート・オン/オフスイッチは Q スタート機能のオン/オフを切替えます。Q スタート機能がオンの際にクロスフェーダーを左から右に動かすと、本体背面に搭載されたコントローラー端子に接続された CD プレーヤーを再生又はキューすることができます。

6. ヘッドフォン出力端子

ヘッドフォンを接続してモニターします。ヘッドフォンは 8Ω から 32Ω の製品を使用して下さい。

7. マイク入力端子

ミキサーにマイクを接続します。フォーン仕様のマイクケーブルを使用し、マイクを接続して下さい。マイク入力信号レベルは MIC レベルノブにより調節可能です。

8. FEATHER FADER PLUS クロスフェーダー

チャンネル 1 とチャンネル 2 の出力信号を混ぜる為に使用します。フェーダーが一番左のポジションに位置している時チャンネル 1 の出力信号がマスターボリュームレベルによって設定されます。同様にフェーダーが一番右のポジションに位置している時チャンネル 2 の信号が出力されます。このフェーダーをスライドさせチャンネル 1 と 2 の出力を選択します。尚、フェーダーが真ん中に位置しているときチャンネル 1 と 2 の出力レベルは同じになります。

9. チャンネルボリュームフェーダー

各チャンネルに接続された外部機器の出力信号レベルを調節します。

10. 入力ソースセレクタースイッチ

各チャンネルに接続された入力ソースを選択します。各チャンネルに1度に1つのソースのみを選択することができます。

11. キューレベルボリュームコントロール

ヘッドフォン出力レベルを調節します。

12. チャンネルトレブルコントロール

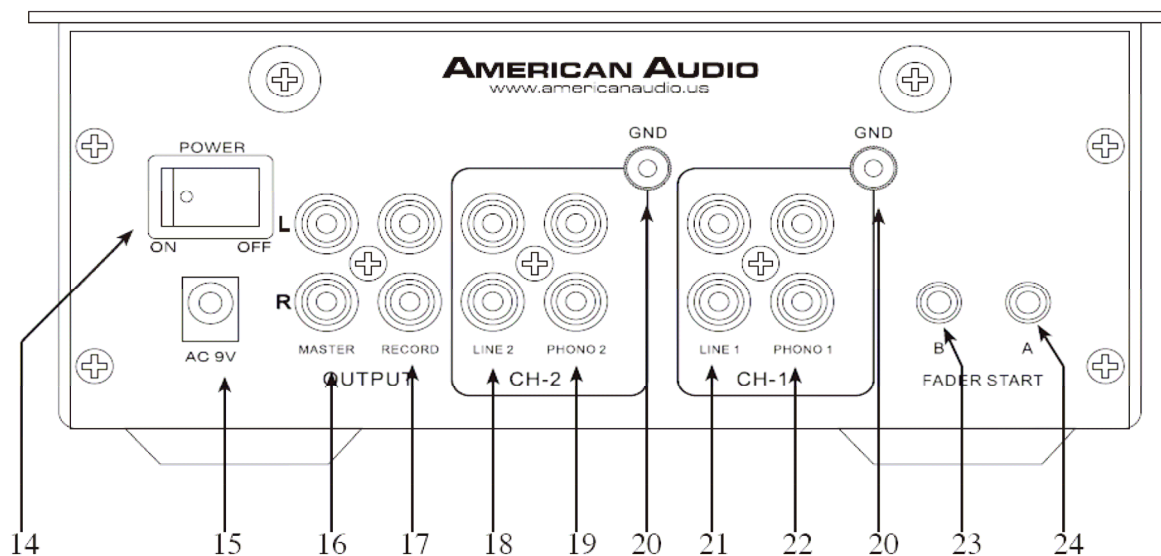
チャンネル信号の高域を+12dB/-26dBの範囲で調節可能です。

13. チャンネルゲイン

各チャンネルへの入力信号レベルを調節します。ゲインレベルを正しく設定することによりノイズレベルの低い出力信号を得ることが可能です。ゲインレベルの設定方法は以下を参照して下さい。

- 1) マスターボリュームコントロールを8に設定して下さい。
- 2) チャンネルフェーダーを8に設定して下さい。
- 3) 設定しているチャンネルに接続された外部機器から信号を入力して下さい。

リアパネル



14. メインパワースイッチ

本体電源のオン/オフを切替えます。本体電源をオンに切替える前に本体への接続が全て完了していることを確認して下さい。

15. 電源入力端子

付属された AC アダプターを接続して本体に電源を供給します。

16. マスター出力端子

アンバランス信号が RCA 端子から出力されます。

17. REC 出力端子

アンバランス信号が出力されます。REC 出力端子は CD レコーダーや MD レコーダー等の外部録音機器を接続して使用するよう設計されています。尚、REC 出力端子の出力レベルは各チャンネルフェーダーにより調節し、マスターボリュームコントロールの影響を受けません。

18. ライン 2 RCA 入力端子(チャンネル 2)

CD プレーヤーや MD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続します。

19. PHONO2 入力端子(チャンネル 2)

DJ ターンテーブル等の PHONO 出力機器を接続します。

20. GND(アース)

ターンテーブルのアース線を接続して下さい。ターンテーブルのハムノイズやポップノイズを抑えます。

21. ライン 1 RCA 入力端子(チャンネル 1)

CD プレーヤーや MD プレーヤー等のラインレベル出力機器を接続します。

22. PHONO1 入力端子(チャンネル 1)

DJ ターンテーブル等の PHONO 出力機器を接続します。

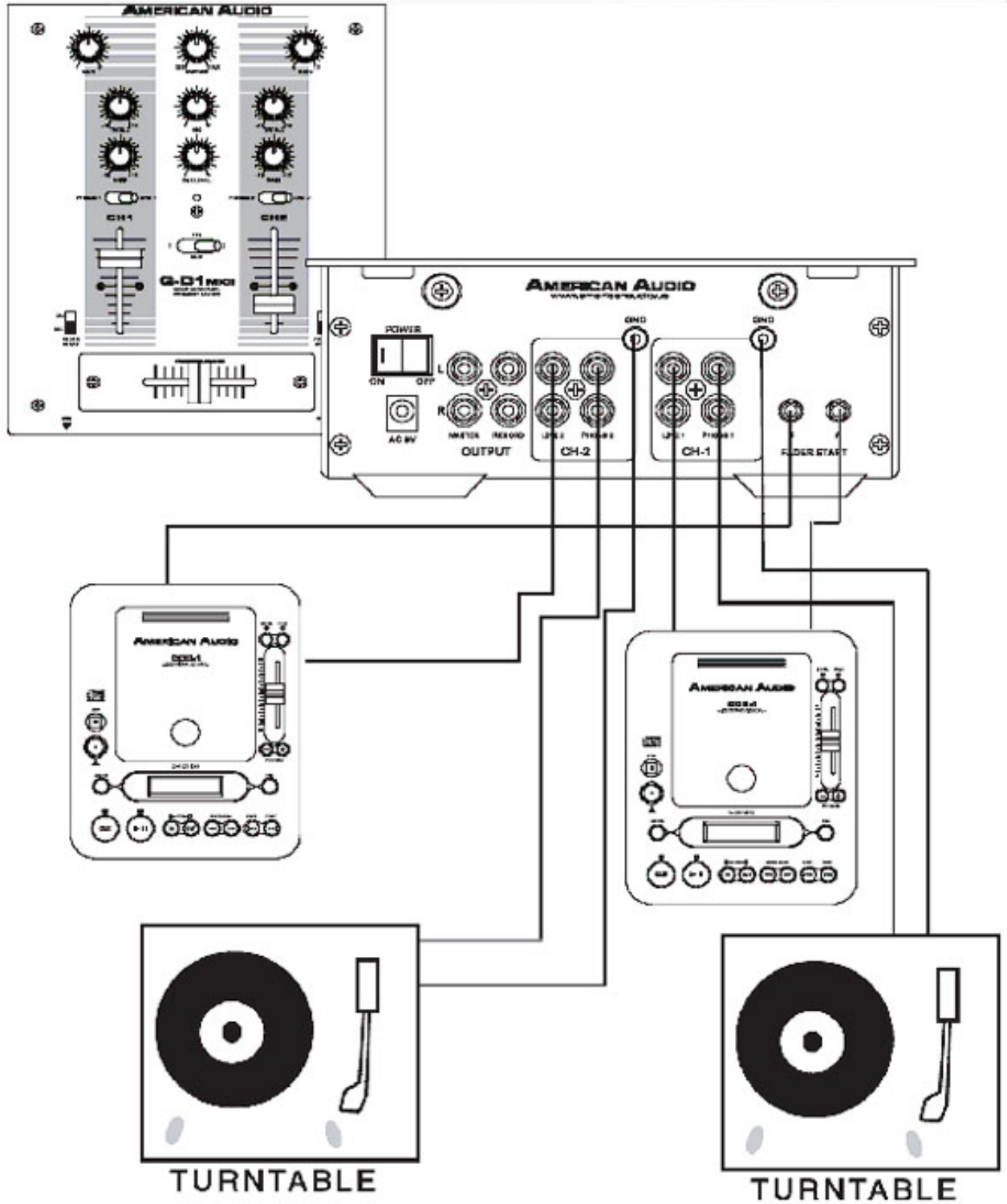
23. プレーヤーB コントロール端子

Q スタート機能に対応した CD プレーヤーを接続します。CD プレーヤーに付属したケーブルを使用し、CD プレーヤーのコントローラー出力端子と Q-D1 のプレーヤーB コントロール端子を接続して下さい。

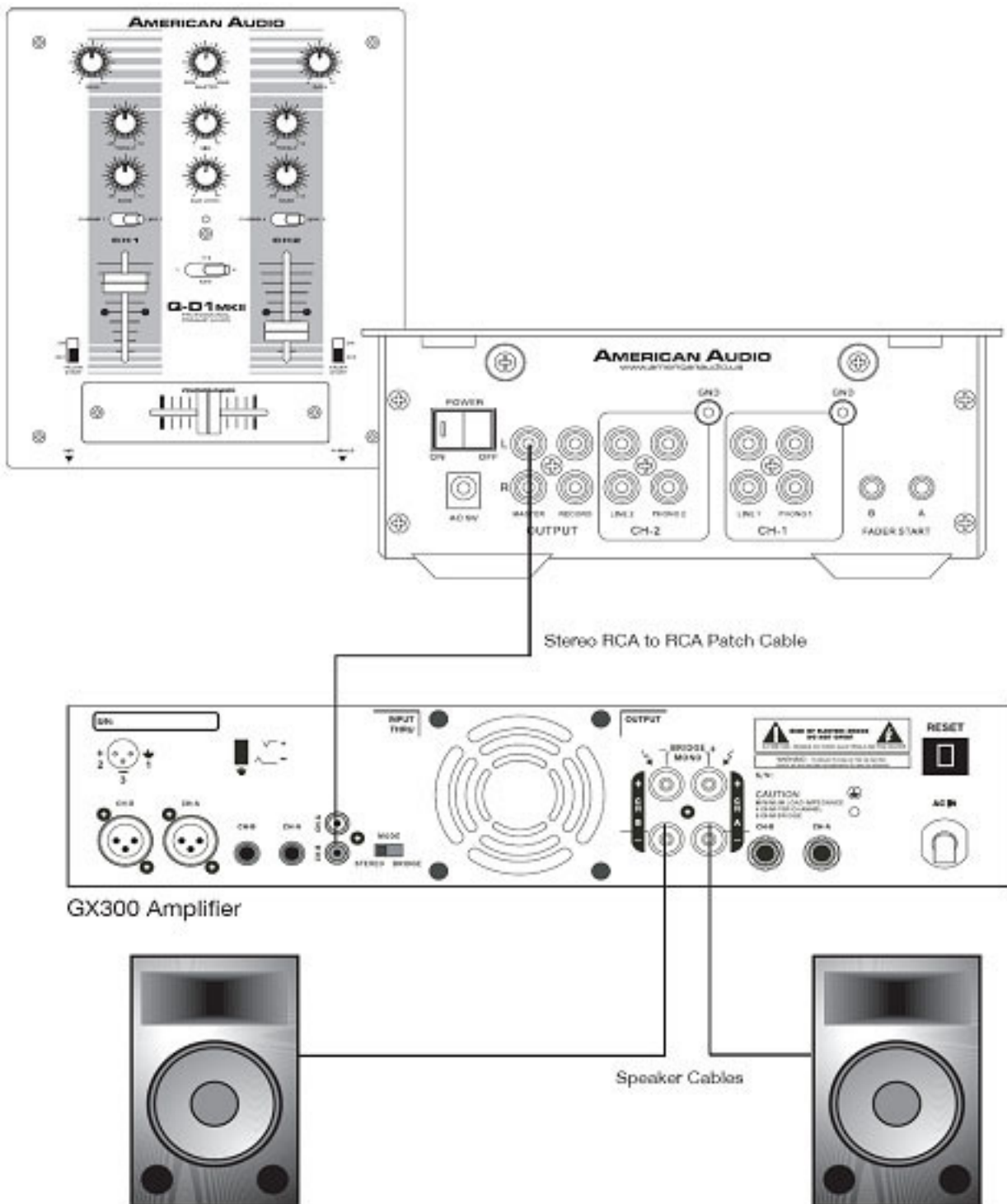
24. プレーヤーA コントロール端子

Q スタート機能に対応した CD プレーヤーを接続します。CD プレーヤーに付属したケーブルを使用し、CD プレーヤーのコントローラー出力端子と Q-D1 のプレーヤーA コントロール端子を接続して下さい。

典型的な接続例 1



典型的な接続例 2



本体の清掃

本製品の性能を維持する為に、定期的に清掃を行うことをお勧めします。

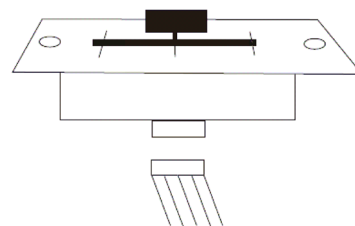
1. 市販のガラスクリーナーと柔らかい布を使用してボディーを拭いて下さい。
2. 電子部品、スイッチ、又はノブの周り等には専用のスプレーを使用して下さい。
3. 30-60 日の間隔で本体の清掃を行って下さい。
4. 本製品を電源コンセントに接続する前に、全てのパーツが乾いているか確認して下さい。

クロスフェーダーの交換方法

Q-D1 MKII のクロスフェーダーは電源がオンの状態でも交換することが可能です。交換の際は American Audio の Feather Fader Plus のみを使用して下さい。他のモデルを装填しようとするとう本体を破損する恐れがありますのでやめて下さい。

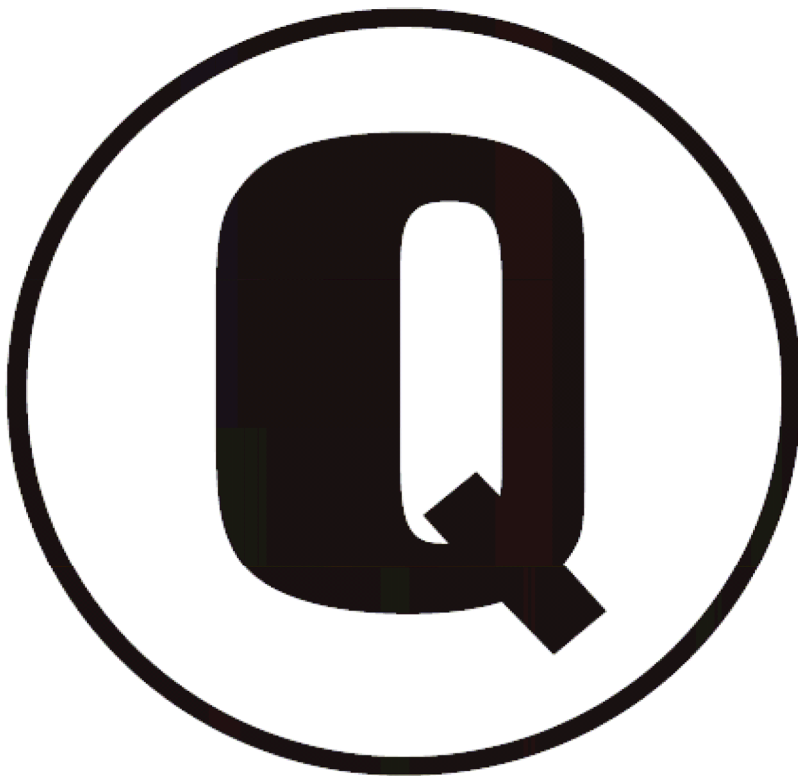
クロスフェーダーの交換方法(Feather Fader Plus)

1. プラスドライバーを使用してクロスフェーダーを固定しているネジを全て外して下さい。
2. クロスフェーダーを取り外して下さい。
3. PC ボードのリボンケーブルをクロスフェーダーから外して下さい。
4. 新しいフェーダーをリボンケーブルに接続して下さい。
5. クロスフェーダーを下に位置に戻し、ネジで固定します。



製品仕様

モデル:	American Audio Q-D1 MKII
使用電源:	AC9V/1A
クロスフェーダー:	Feather Fader Plus
消費電力:	10W
ヘッドフォンインピーダンス:	16Ω
使用環境温度:	5~35℃
サイズ:	192(W) × 105(H) × 236mm(D)
重量:	2kg



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。